

臨床研究に関する情報公開について

当院では、倫理委員会の承認得て、下記の臨床研究を実施しています。研究は対象となる患者様から個別に同意を得て行う研究ではなく、国が定めた指針に基づき、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われる研究になります。研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名：凍結融解胚移植における4種類の黄体ホルモン補充剤（ルティナス®、ウトログスタン®、ルテウム®、ワンクリノン®）および1日あたりの使用量の違いにおける妊娠結果の比較

研究責任者：俵史子

研究目的と意義：近年、本邦において天然型黄体ホルモン剤の販売が認可され、現在までにルティナス®、ウトログスタン®、ルテウム®、ワンクリノン®が販売されている。本研究では凍結融解胚移植の症例を対象に1）本邦で使用可能な上述4種類の経膣黄体ホルモン製剤間の臨床成績の比較、2）各経膣黄体ホルモン製剤の補充量（1日の実施回数）の違いが臨床成績に与える影響について検討する。

研究方法：診療内容（使用したお薬、年齢、臨床成績、BMIなど）、検査データ（主に移植時のP4値）を用いた調査をします。

対象となる患者様：2015年4月・2017年9月の期間に当院で凍結融解胚移植を実施した方

発表学会：第62回日本生殖医学会学術集会（2017年11月16日、17日）

個人情報の取り扱い：本研究に使用するデータにはお名前、住所など個人を特定できる情報は一切含んでおりません。また、研究成果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究の対象となる患者様は参加への拒否を申し出ることができます。2017年10月31日までに下記へお問い合わせください。この期日以降は利用する情報から個人情報を削除するため、利用する情報が削除不可能となります。

研究番号：2017-6

問い合わせ先：

【住所】 静岡市駿河区泉町2-20

【担当者】 福田純子

【電話番号】 054-288-2882

【FAX】 054-288-2883

【メール】 tawara-ivf@i.softbank.jp

以上